

2024年度

子ども安全パトロール

地域で見守る子どもたちの安全

たてやま青空の会



提案の概要

会員を募って「子ども安全パトロール」の帽子を配布する（PTA、地域、老人会などに声かけ）。子どもの登下校の見守りだけでなく、買い物、散歩、犬の運動など出かけるとき、いつもかぶってもらう。

子どもたちには、「子ども安全パトロール」の帽子をかぶっている人は、子どもたちの味方。困ったことがあった時、危ない思いをした時には頼ってよいと教える。

特に昨年度活動を広げられなかった地域にアプローチする

誰でも参加できる子どもの見守り

帽子をかぶるだけ…お金のかからない活動

シフトに縛られない自由な活動

誰でも、時間のある時、自由に活動



子どもたちを見守る様々な組織

交通安全指導員…通学路の交差点などで、子どもたちの安全指導や、見守りをを行っている。

防犯協力会… 様々な行事での防犯、歳末の防犯活動などを行っている。

子ども見守り隊…地域により、活動を継続しているところ、休止してしまったところなど様々である。

子ども110番…看板が風化し、すでに空き家となっている所もある

昨年度の活動で、既成団体と協議、関係づくりを行った

課題

- 子ども見守り隊の活動が浸透している地域に偏りがある。——→ 今年度は、まだ活動の広がっていない地域にアプローチする。
- 会員になっても帽子をかぶって外出することが習慣となっていない人が多い。
——→ 活動の意味を改めて会員に周知する。

課題の克服により

- 館山小学校、北条小学校、現在の館山中学校、来年度移転後の館山中学校付近で見守る人を増やすことができる。
- 市内全体でのオレンジ帽子の密度を濃くできる。また、特に子供たちの登下校の時間に見守りをしようという意識を高めることができる。
- 子どもたちの安全を館山市全体で見守っていく機運を醸成できる。

オレンジ帽子をかぶっている人は子どもたちの味方

- 昨年はポスターを作って学校等に掲示した
- 学校に協力依頼し、子どもたちに直接子ども見守り隊の活動を伝える機会を作る



館山市市民協働事業

子ども安全パトロール 2024 予算書

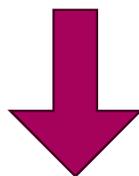
たてやま青空の会

単位 (円)

収入			支出		
補助金	館山市市民協働事業	100,000	消耗品費	オレンジ帽子購入費 (130個)	147,810
協力金	オレンジ帽子協力金 (130個分)	65,000	通信運搬費	オレンジ帽子案内等 送料	5,000
			使用料	集会、会議等会場費	5,000
			印刷製本費	資料等印刷代	7,190
合計		165,000	合計		165,000

子どもたちをやさしく見守るまちづくり

オレンジ帽子の普及で、子どもたちをたくさんの大人の目で見守る機運を育てる。



子育てしやすい、子どもにやさしい町

館山市のイメージアップにも



多くの大人がそれぞれの場
所で子どもたちの見守り





ご清聴ありがとうございました
たてやま青空の会

